



どろになじむ



学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」  
～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～



## 横堀名物 「どろんこあそび」！ すばらしい顔、すさまじい顔・・・どろ食べた？



今年も、齊藤真津雄さんの田んぼをお借りして、「どろんこあそび」ができました。はじめのうちは、「おそろおそろ」の子どもたちでしたが、時間が経つと汚れを気にしなくなって、いつもの年よりも豪快に“戯れ”ていました。例年のおおりに、テレビや新聞の取材もありました。当日のテレビのニュースでも、元気いっぱい、どろいっぴいの天真爛漫な子どもたちの笑顔が素敵でした。

## 「田植え」は“JAアグリスクール”とのコラボで！



そして、今日は4, 5年生による「田植え」でした。小雨が降る中で、少し肌寒さを感じながらも、「どろんこあそび」を低学年で2年間体験した先輩たちは、スムーズに田んぼに入って、本当に上手に、手際よく、苗を植えていきました。協力してくださった、お家の皆さんも本当にありがとうございました。

今年も、JA秋田おぼこの東部営農センターさんのご協力をいただきながら、1年間を通じて「田植え」「生き物調査」「稲刈り」「米の販売」「料理体験」などを実施します。

横堀の強みは、「人のつながり」と「豊かな自然」だと思います。その、全国有数の米どころに生きる子どもたちに、地域の皆様のお力添えをいただきながら、本物の体験をさせることができることに、改めて感謝の気持ちです。

5年生は、総合的な学習としても、お米のことについて1年間学んでいきます。そして、10月には全校みんなで「なべっこ&収穫祭」を楽しみます。横堀のよさを存分に味わっていきます。



# 「どろんこ」と「田植え」の間の 全国学力・学習状況調査!



2年ぶりに、全国学力テストが実施されました。“いざ”という本気のテストに疲労困ばいの子どもたちも見られました。私も解いてみました。国語では、「長い文章」やさまざま「条件に合わせて」書く問題や「文章の構成」を問うものもあり、とっても複雑な思考が必要でした。算数では、やはり「考え方の説明」に課題がありました。そうなんです。聞いていることは単純なのですが、たくさんさんの、表やグラフと数直線などを活用しながら考える力が必要でした。

上の写真を見てください。3年後には、中学校の制服を着て“いざ”という『高校入試』に向かっている子どもたちの姿が目に見えます。今日の困り感を自分の課題と捉えて、「授業」と「家庭の家庭学習」で力を付けてほしいと思います。

**「家庭の家庭学習」と「全国学力テスト」をつなげて考えると**  
 今年度も、毎日の家庭学習のがんばりを見せてもらっています。これまで私は、4～6年生の上の学年を見ました。まずは、次のことを心配しています。

- ①「四つのチェックポイント」ができていない子が、ややいる。
- ②「日記」がなげやりで、じっくり考えることから逃げている子がいる。
- ③「ドリル」をやるだけで、「自分の言葉による説明」が不足している。
- ④保護者の目が行き届いていない家庭が、まだ少し見られる。

学校でも、「書くこと」に課題を感じて、授業でも「自分の考えを書くこと」を大事にしています。  
 夢に向かう“いざ”というときに、しっかりと力を発揮できるようになるためにも、その日1日の勉強、“できること”をがんばらせていきませんか?

## 「たいようくんステージ」もスタート!



今年初めての「たいようくんステージ」が飛び入り状態で登場したチームもあり、次の機会を狙って今回は断念したチームもあつたようです。低学年は、フラフープや縄跳び、馬跳び。6年生の愛琉さんと愛純さんペアは、キレの格好いダンスを披露。5年生の男軍団は、リズムに乗って「こんな〇〇いやだ!ゲーム」で盛り上げました。突然のゲストも募集して楽しみました。主催した5年生が選んだ、「ナイスいやいや賞」ベスト3は次の三つです。

- ①「ゴキブリが主食」いやいやよお
- ②「さとうがしょっぱい」いやいやよお
- ③「足がくさい」いやいやよお

こうやって、「楽しい学校」を自分たちで創っていくことを“楽しむこと”。どんどんやってほしいと思います。みんなが楽しく笑顔になる時間、「たいようくんタイム」は、今年のキャッチフレーズである「“楽”“笑”な学校」の、ど真ん中の時間です。

### みんなのがんばり紹介

読書の輪が低学年にも広がっています。全員が、まずは「50冊賞」を目指したいですね。

大仙市子ども読書通帳 50冊賞 100冊賞 2年生 加藤 凜心さん